



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月7日  
東

上場会社名 ジェイリース株式会社 上場取引所  
 コード番号 7187 URL <https://www.j-lease.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長(氏名) 中島 拓  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務兼専務執行役員経営企画本部長(氏名) 中島 重治 (TEL) 03-5909-1245  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,916	19.4	1,793	31.3	1,790	33.2	1,234	36.3
2022年3月期第3四半期	6,629	22.7	1,366	112.0	1,344	118.4	905	133.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,234百万円( 36.3%) 2022年3月期第3四半期 905百万円( 133.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	138.72	137.32
2022年3月期第3四半期	102.10	100.39

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,284	3,027	32.6
2022年3月期	8,832	2,372	26.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,027百万円 2022年3月期 2,372百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2023年3月期	—	25.00	—		
2023年3月期(予想)				35.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,850	18.4	2,400	21.8	2,390	22.8	1,610	20.1	181.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,932,800株	2022年3月期	8,920,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	51,070株	2022年3月期	147株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	8,898,584株	2022年3月期3Q	8,868,970株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあり景気の持ち直しが期待されるものの、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れによる下押しリスクや、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響が残る状況となりました。

一方で、賃貸不動産業界におきましては、入居需要は底堅く、加えてオフィスやテナント等、事業用物件に対する賃料保証のニーズが増加傾向にあります。

このような環境の下、当社グループは、顧客（不動産会社、賃貸人、賃借人）に寄り添った丁寧な対応を徹底し、与信審査及び債権管理業務の強化を継続するとともに、業績連動賞与の導入等、人的資本の強化にも取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,916,094千円（前年同期比19.4%増）、営業利益は1,793,357千円（前年同期比31.3%増）、経常利益は1,790,918千円（前年同期比33.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,234,423千円（前年同期比36.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (保証関連事業)

売上面では、住居用賃料保証、事業用賃料保証ともに出店エリアでの顧客の囲い込み、外部企業との連携、当社の強みである地域密着営業、ニーズに対応した顧客獲得等により、堅調に推移いたしました。

経費面では、不安定な景況感の中、与信審査及び債権管理業務等におけるコストコントロールが維持できております。

医療費保証業務においては、引き続き販路拡大と営業強化に取り組み、新規取引が拡大いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の保証関連事業の売上高は7,770,211千円（前年同期比18.2%増）、営業利益は1,799,631千円（前年同期比30.4%増）となりました。

#### (不動産関連事業)

不動産仲介・管理業務及び不動産賃貸業務においては、外国籍の方々に対する業務を中心に展開しております。販売用不動産売却による売上拡大のほか、マンションからの収入が増加いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の不動産関連事業の売上高は153,888千円（前年同期比147.1%増）、営業損失は6,273千円（前年同期は営業損失13,750千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比451,744千円増加し9,284,200千円となりました。これは主に、収納代行立替金の増加344,392千円、貸倒引当金の減少182,105千円、現金及び預金の増加128,766千円、未収保証料の減少280,822千円、によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比202,405千円減少し6,257,158千円となりました。これは主に、短期借入金の増加200,000千円、未払法人税等の減少297,046千円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比654,149千円増加し3,027,041千円となりました。これは主に利益剰余金の増加788,131千円、自己株式の増加134,766千円によるものであります。

これらにより、自己資本比率は前連結会計年度末比5.7ポイント増加し32.6%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月6日付「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2023年1月13日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,022,308	1,151,074
未収保証料	1,129,067	848,244
未収手数料	50,039	55,955
代位弁済立替金	4,715,199	4,748,049
収納代行立替金	1,389,066	1,733,458
貯蔵品	15,528	11,871
販売用不動産	-	27,403
その他	344,765	525,930
貸倒引当金	△2,066,900	△1,824,300
流動資産合計	6,599,073	7,277,687
固定資産		
有形固定資産	419,528	362,165
無形固定資産		
その他	276,251	244,889
無形固定資産合計	276,251	244,889
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,265,574	1,112,831
その他	580,930	656,024
貸倒引当金	△308,903	△369,398
投資その他の資産合計	1,537,601	1,399,457
固定資産合計	2,233,382	2,006,512
資産合計	8,832,455	9,284,200

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	1,800,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	66,480	21,444
リース債務	43,466	43,295
収納代行未払金	828,446	874,577
未払金	546,062	621,875
未払法人税等	414,108	117,062
前受金	2,194,254	2,123,645
賞与引当金	111,095	81,220
その他	243,861	197,153
流動負債合計	6,247,775	6,080,274
固定負債		
長期借入金	88,324	83,320
リース債務	63,707	31,364
役員退職慰労引当金	4,597	3,415
資産除去債務	53,826	58,082
その他	1,333	701
固定負債合計	211,789	176,883
負債合計	6,459,564	6,257,158
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	717,103	717,506
資本剰余金	292,103	292,506
利益剰余金	1,363,964	2,152,095
自己株式	△179	△134,945
株主資本合計	2,372,992	3,027,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△101	△122
その他の包括利益累計額合計	△101	△122
純資産合計	2,372,891	3,027,041
負債純資産合計	8,832,455	9,284,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	6,629,846	7,916,094
売上原価	1,478,272	1,852,373
売上総利益	5,151,573	6,063,721
販売費及び一般管理費	3,785,483	4,270,363
営業利益	1,366,089	1,793,357
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	10	10
補助金収入	350	2,332
償却債権取立益	855	88
受取補償金	-	12,907
その他	707	834
営業外収益合計	1,931	16,182
営業外費用		
支払利息	20,914	15,808
その他	2,454	2,812
営業外費用合計	23,369	18,620
経常利益	1,344,652	1,790,918
特別利益		
資産除去債務履行差額	-	4,175
固定資産売却益	337	-
特別利益合計	337	4,175
特別損失		
固定資産除却損	1,125	748
特別損失合計	1,125	748
税金等調整前四半期純利益	1,343,864	1,794,345
法人税、住民税及び事業税	368,969	407,178
法人税等調整額	69,404	152,743
法人税等合計	438,374	559,921
四半期純利益	905,490	1,234,423
親会社株主に帰属する四半期純利益	905,490	1,234,423

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	905,490	1,234,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△21
その他の包括利益合計	9	△21
四半期包括利益	905,499	1,234,402
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	905,499	1,234,402

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年8月9日開催の取締役会決議に基づき、「株式給付信託(BBT)」制度の信託財産として自己株式の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が134,707千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が134,945千円となっております。

(追加情報)

(役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2022年6月23日開催の株主総会において、当社の取締役(監査等委員である取締役、及びそれ以外の社外取締役である者を除きます。)の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」(以下「本制度」といいます。)を導入しております。

#### 1. 本制度の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。)を通じて取得され、取締役に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭(以下「当社株式等」といいます。)が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

#### 2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する自社の株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、それぞれ134,707千円、50,900株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	保証関連事業	不動産関連事業	計		
売上高					
外部顧客との契約から 生じる収益	912,140	56,271	968,411	—	968,411
その他の収益	5,661,434	—	5,661,434	—	5,661,434
外部顧客への売上高	6,573,574	56,271	6,629,846	—	6,629,846
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	6,014	6,014	△6,014	—
計	6,573,574	62,285	6,635,860	△6,014	6,629,846
セグメント利益又は損失 (△)	1,379,840	△13,750	1,366,089	—	1,366,089

(注)1. 売上高の調整額△6,014千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	保証関連事業	不動産関連事業	計		
売上高					
外部顧客との契約から 生じる収益	1,081,422	145,883	1,227,306	—	1,227,306
その他の収益	6,688,788	—	6,688,788	—	6,688,788
外部顧客への売上高	7,770,211	145,883	7,916,094	—	7,916,094
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	8,004	8,004	△8,004	—
計	7,770,211	153,888	7,924,099	△8,004	7,916,094
セグメント利益又は損失 (△)	1,799,631	△6,273	1,793,357	—	1,793,357

(注)1. 売上高の調整額△8,004千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。